

HITACHI

Inspire the Next

日立液晶プロジェクター導入事例

ホーブ・パーク・スクール 様

イギリス



■ 導入までの経緯

生徒達の知的好奇心を刺激し、授業へのさらなる興味を喚起したい。この教育スタイルのもと、天吊り設置のプロジェクターとインタラクティブ・ホワイトボードを積極的に導入し、多用してきたホーブ・パーク・スクール。しかし、従来のプロジェクターは教師自身の影がボードに映り込み、映像が見えにくくなるという難点がありました。また、生徒がスクリーンの前で発表するときにプロジェクターの光が目に入るために眩しく、他の生徒の方を見ながら話すことができない、という問題も生じました。

■ 導入によるメリット

本製品の設置距離は、インタラクティブ・ホワイトボードからわずか10cm弱。しかも、この距離で60型の映像を映すことが可能です。ボードのすぐ近くから投写することで、教師がボードに書き込むときの手先や身体の影を大幅に低減します。さらに、光が目に入らないため生徒が発表するときに他の生徒の方を見ながら話すことができるようになりました。本製品の導入でより生徒が授業に集中できるようになり、教師からの高い評価を得ています。

※事例の写真はCP-A100Jと同等モデルのED-A100です。



超短投写距離フロントプロジェクター
CP-A100J

 **日立コンシューマエレクトロニクス株式会社**
ソリューションビジネス事業部

〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地

日立家電品のお買物・お取り扱いについてのご相談を承る窓口
家電ビジネス情報センター

0120-3121-19

受付時間 9:00~17:30 (月~土) 携帯電話、PHSからもご利用できます。
(日曜・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます)

- ・お客さまが弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ・ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただきますことがあります。

このカタログの記載内容は2009年7月現在のものです。

お問い合わせ、ご用命は下記へ

- この印刷物は再生紙を使用しています。
- この印刷物は環境に配慮した植物性大豆インキを使用しています。



NM-462P

2009.7